

鳥羽市で離島の旅を案内している住民グループ「島の旅社推進協議会」がホワイトデーの3月14日、「恋人の聖地」と呼ばれる鳥羽市・神島をカップルで訪れる日帰りツアーを企画し、参加者を募っている。

神島は、三島由紀夫の小説「潮騒」の



ホワイトデー 離島でいかが？

舞台。2006年には、NPO法人・地域活性化支援センターが「恋人の聖地」の一つに選んだ。募集するのは18歳以上のカップル10組。午前10時40分に佐田浜港を市営定期船で出発し、神島ではハート形の「ラブラブとばーがー」を食べ、シエルキャンドルを作り、縁結びの八代神社を経て神島灯台Ⅱ写真Ⅱを巡る約1時間半のウォーキングを楽しむ。午後3時40分に戻る。1人3千円。

ガイドは神島の海女ら5人。4月以降も定番のツアーにする計画だ。申し込みは、島の旅社推進協議会（0599・373339）へ。

神島「恋人の聖地」ツアー